※令和４年度以降入学生用

学校番号	3020

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	文学国語　（大修館出版）						
副教材等	新訂版常用国語便覧　（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年次では基礎的な国語の力を身につけることに取り組みました。２年次では、文章を読んで深く共感したり、創造的に考える力を養ったりし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めます。
・様々な文章を「読むこと」「書くこと」によって
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う 。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要 な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考 える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする意欲を持っている 。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・自然や身近なできごとを描いた文章に触れ、文学に親しむ。 ・想像したり共感したりしながら、自分自身の生き方を見つめる。 ［教材］ 飛ぶことを知っている魂	a：幼鳥に対する筆者の考えが表れている記述を取り上げ、そこから分かることを適切に説明している。 b：[読]幼鳥に起こった出来事と、筆者の考えの関係を本文の記述を元に適切に理解している。[書]体験に自身の体験に基づいて構成表減などを工夫し、文章を書くことができる。 c：幼鳥に起こった出来事と、筆者の考えの関係を本文の記述を元に適切に理解している。タイトルや本文における「飛ぶことを知っている魂」の意味について正確に理解し、表現している。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
	・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえる。 ・登場人物のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感、または批判的に考察することをとおして、自分の生き方について考えを深める。 ［教材］ 山月記	a：「人虎伝」「山月記」（中島敦）の掲載箇所について、相違点を正確に理解し、「山月記」（森見登美彦）の冒頭部分の特徴も理解している。 b：[読]「人虎伝」「山月記／中島敦」における袁傪の詩の受け止め方の相違について正確に理解している。複数の翻案作品を基に作品の解釈や自身のものの見方・感じ方・考え方を正確に表現している。 c：「山月記／中島敦」の李徴の人物像を理解した上で、翻案作品との相違を正確に捉え、近代的な解釈について自らの見解を述べることができる。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析
2学期	・登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者とのかかわりを学ぶ。 ・本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。 ［教材］ こころ	a：作者についての知識をもち合わせ、日本近代文学史の流れを把握し、他者に説明している。語句の意味を、注や辞書を手がかりに理解し、自らの表現に生かしている。 b：[読]作品のあらすじをつかんで各段落の内容を理解し、場面の展開を簡潔にまとめている。Kに対する「私」の気持ちの推移を、場面展開に沿って理解し、「私」にとってのKとの関係性の変化をおさえている。[書]作品のテーマについての考えを、自身のものの見方や感じ方、考え方と比較して書き留めたり、感想文にまとめたりしている。 c：小説を読み、登場人物の行動の理由を読み取り、心情や情景を味わおうとしている。作品のテーマや感想などについて、積極的に話し合いに参加し、自分の意見と他者の意見を比較して多面的に考えている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※令和４年度以降入学生用

3学期	・登場人物の感覚から事物の多用なとらえ方を知る。 ・文体の特徴に着目し、その効果について考える。 ［教材］ 檸檬	a：難解な語句の意味や興味をもった表現などを、自ら調べて理解している。作者や作者が活躍した時代背景についての十分な知識をもっている。 b：[読]「私」の心理状態を想像し、「私」が好んでいるもの、嫌悪を感じているものを文章表現から具体的に理解している。檸檬を手に入れる前と後での「私」の気持ちの変化を的確にとらえて心情を説明している。丸善に檸檬を置いてきた「私」の意図を理解し、その後の「私」の気持ちを文章から正しく読み取っている。[書]体験に基づいてショートストーリーを書くことができる。 c：作品に描かれた美的世界を十分に味わい、作者の繊細な感性をとらえて読書の幅を広げようとしている。回想描写と当時に戻っての描写の混在に着目しながら作品を読み、この表現方法がどのような効果を生むか深く考えようとしている。	記述の確認・分析及び定期考査・小テスト	行動の観察及び記述の点検分析	行動の観察及び記述の点検分析

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１０　）時間
・読むこと　…　（　２５　）時間